



第41回全国大会(6月19~20日開催)まで 1300人の同盟員拡大を必ずやりあげよう!!



(596号付録)

北海道版 No.494

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
北海道本部編集発行人 歌代 英蔵
〒065-0018 札幌市東区北18条
東15丁目3-6プランノワールF101号
電話 011 (374) 8280
FAX 011 (374) 8281
郵便振替・02740-7-24209

全国大会まであと半年、

大会までの北海道本部活動方針を決める
第2回常任幹事会が開催されました

道本部会長 歌代 英蔵

新年早々能登半島を襲った巨大地震、突然の災害は、多くの方の命を奪い家屋も倒壊し、生業も奪われる大災害となりました。厳寒の時期でもあり、今もって復興の見とおしは立っていない状況下に心を痛めています。心からのご冥福とお見舞い申し上げます。

1月22日第2回常任幹事会を開催し、会議の冒頭で、歌代会長は次のようにあいさつし今回求められる常任幹事会の目的を提起しました。「新しい年を迎えての常任幹事会です。今年もよろしく願います。内外ともに激動の情勢ですが、国内の問題では、裏金問題で自民党は派閥を解散して国民の怒りをそらして乗り切ろうとしています。そういう話に乗ることに私たちはいかないと思います。本来的には、企業団体献金の廃止しかありません。」

さて、今月の17日に国民救援会の旗開きがあり招待を受けましたので行ってきました。そういう席でしたので詳しい事を話すことは出来ませんが、最後に守屋会長と話した時にどこから聞いたのか分かりませんが「国賠同盟、たいした人を増やしているというではない

(次のページに続く)

か」と言われました。(笑い)また、中央本部でも北海道の同盟は随分がんばっていると思われているようです。

今日の常任幹事では、この間の同盟員拡大がなぜがんばれたのか、どうしてがんばれたのか、その教訓を交流して今後の活力にしていきたいと思います。

何はともあれ、第1回常任幹事会で決めた全国大会までに130

0名の会員拡大目標を何としてもやりきる、そのために昨年来のがんばりがありますが、残りの目標70名をやることや国賠署名を増やし支部目標をやりきるために、どのようにやるかについて今日は議論をして頂きたいと思っています」

畠山副会長を司会に各常任幹事の発言が続き充実した会議となりました。

1月22日常任幹事会基調報告

事務局長 横山 博子

2023年6月、中央本部幹事会の方針を受け、第41回全国大会までに1300人の目標を達成しようと6月21日の常任幹事会で決定しました。9月27日の道本部大会まで25%(35名)2023年末まで25%(35名)全国大会まで50%(70名)の3節を設けました。その結果9月27日の道本部大会までの35名超過達成の成果、引き続き11月4日の常任幹事会でさらに活動経験を交流・学びあい、年内

35人を超える会員拡大をやりきり新年を迎えることができました。今年に入り全国大会までの節目目標70名拡大に向け常任幹事会のみならず先頭に全支部・道本部一丸となって取り組んでいます。この間、同時に「不屈」道版・支部版「活動促進ニュース」の発行で互いに交流、激励しあい取り組み成果につなげています。

「伊藤千代子映画」の上映運動の中で、苫小牧、札幌また各地の

上映会の中で、暗黒治安維持法犠牲者の無念さを学び、入会を決意する方たちが広がっています。

また、昨年開催された北海道本部大会に参加した代議員は、あらためて治安維持法・国賠同盟の活動の重要性を学び、同盟入会をまわりに広げています。

常任幹事会で議論した国賠同盟活動の任務と責任「再び戦争と暗黒政治を許さない」ということを堅持し、日本共産党議員、活動家、民主団体役員のみならず入会をすすめる意義を学び、取り組みを強め成果をえています。

目標について繰り返し議論し、自覚的、自主的な取り組みをすすめましょう。

室蘭支部再建のために、歌代会長と畠山副会長が支部に出かけ「映画上映」実行委員のかたと懇談、その方が入会を決意されました。支部再建につながると確信を深めています。

釧路支部は、全体

国賠署名の目標と達成状況

2024年2月1日現在

支部名	団体署名		個人署名		
	目標数	到達数	目標数	到達数	到達率
札幌	400	63	5000	1209	24.1%
江別	20	4	1000	265	26.5%
小樽後志	50	5	750	115	15.3%
道南	100	0	1500	160	10.6%
室蘭	30	21	500	80	16.0%
道北	300	0	3000	0	0.0%
十勝	100	1	2000	161	8.0%
釧路	150	0	2500	120	4.8%
南空知	50	13	1500	472	31.4%
苫小牧	80	13	2000	550	27.5%
北空知	60	0	1500	12	0.8%
北見	70	53	2500	1039	41.5%
道本部	50	0	1000	50	5.0%
合計	1460	173	24750	4233	17.1%

の方針を受け、会員140名と署名1500筆目指して奮闘しています。

組織的に困難な道北支部、北空知支部、室蘭支部は全体の活動に学び組織を守るための努力が行われています。

学び、交流し、励ましあって新しい時代を迎える牽引車の役割をはたしていきたいでしょう。

●第51回国賠署名国会請願

日時 5月15日(水)

●第41回国賠同盟全国大会

日時 6月19日(水)・20日(木)

常任幹事発言要旨

第2回常任幹事会は、横山事務局長の基調報告、斉藤副会長の財政報告に続き、討議に入りました。常任幹事7名、道本部役員6名が参加し意欲的な発言が全員からありました。

(倉本常任幹事) 昨年支部昇格した江別支部、この一年余少しでも同盟の存在を認知してもらうよう地域活動を広げてきた。街宣活動にも積極的に取り組んできた。支部設立時の3倍を超す100名を超える会員数になった。治安維持法の悪法で弾圧された人々に謝罪をすべきと地道に活動をしている。

(歌代会長) 最初一年は、倉本さんと対象者を挙げて毎晩歩いたが、最近では8人いる支部幹事が進んで拡大するようになった。

(牟野常任幹事) 道役員の協力で会員が増えている。市内全区で会員が増え250名を越えた。「治安維持法と現代」の読書会に新しい会員に呼びかけ2人が参加。会員ではない人も署名50筆、募金5000円が届けられた。「種まく

人々」を見た参加者は、「弾圧受けたのは共産党や近い人だと思っただけで一般の人もいたことを初めて知った」と感想を寄せている。若い人も含めた学習会を広げる重要性を感じている。財政納入も年度末まで集めきる予定。署名も徐々に積み上げているが、力持ちに偏っている現実。会員ひとり一人の力に訴えたい。行事会場や団体に依頼しながら目標5000筆がんばりたい。

(竹田常任幹事) 千代子映画上映会を2回やったが、その後広がりなかった。「再度見たい」と始まった地域上映会。ブロック別実行委員会を設立し上映計画をもった。第1回は中央図書館で実施。会場定員80名満席となり実行委員がビックリしていたが、その後、6人が加入した。上映には、困難が多く伴ったがひとつずつクリアした。上映債権を使い鑑賞代金にこだわらず多くの人に見てもらふことを目的にし、安平町など近隣の町との手がかりもつくれた。会

員拡大は進んだが退会も多く難しい。事務局会議で時間を掛けて拡大議論をしたことで事務局員が立ち上がり動く力になっている。大会まで目標にこだわらなければならないと思う。国賠署名も一人10筆運動を提起しそこが命なので、プリント配りや電話かけするなど全会員にお願いする。道事務局への要望、基調報告は焦点を絞ったレジュメと報告にして欲しい。「不屈」配布部数が毎月不足、改善してもらいたい。

(佐々木常任幹事) 北見では「不屈」を民主団体、会員外などに配布しているので部数を多く申請し送ってもらっている。問題は会員基礎数がどうなっているのかである。

会員、署名、財政を気にしながら活動している。「不屈」北見版もどのように発行するのか意識している。財政は、免除会員4、5人いるが未納者はなく100%納入している。会員拡大は網走の松浦が、退会も多く困難はあるが少しづつ増えている。国賠署名は、全会員に署名用紙を渡し取り組みを

意識してもらうようにしている。何としても年内1000筆、120人会員を達成しようと新年ギリギリまでがんばってやりあげた。署名難しいが、菱谷さんなど当事者ばかりでなく、藤田さんが言うように日本国民全員が犠牲者であるから「今更やってもしょうがない」「国会がこうなのだからいくらやっても」論を打ち砕くため、くりかえし、くりかえし学習しながら努力することではないか。

(増子常任幹事) 千代子映画上映会を未開催の厚別区でやりたい。民青事務所、大学の授業など今後はどう取り組むかが課題である。第4次上映運動は、小さい自治体などでとりくむという困難はあるが、浜頓別の事例のように上映後会員になった人もいる。やってみようという団体、個人の情報が欲しい、とつかかりの可能性を探りたい。常任幹事会の報告であるが、提案は9項目示されているが項目だけでなく一歩踏み込んだ提案がなければ議論にもならず取り組みが遅れていく。今日の会議後具体化するのは遅い。治安維持法の交流と学習は同盟の拡大や署名に

もつながり情勢に叶っている。一泊、難しければ1日でも実施すべき、3・15にこだわらず4月に入ってもやって欲しい。道本部の決断がない、早急に決め取り組みを進めてほしい。

(前崎常任幹事) 昨年3月の時点で十勝管内共産党議員全員が会員だった。4月の選挙で落選候補が入会、当選議員は未入会なので勧めている。昨年暮れ、地区委員の2名が入会した。まだまだ遅れた状態にある。署名も一割程度。取り組みに自治体間の格差がある。

とりわけ帯広市は人口16万人、市議会議員もがんばっているが取り組みが弱く進んでいない。再度訴えて行く。私事だが、4月広尾町長・町議選挙がある。現在2名の議席をもっているが、1名交代する状況にある。高齢化が進み活動体制がとれず大変だが、できる範囲でやっていきたい。議員活動と重ねて署名にも取り組んでいきたい。

(牧野常任幹事) 昨年の会員拡大を見て「やべえな」と思っていた。財政は払い終わった。今、電話で一人拡大できた。(会場内で拍手)

これで終わらせてはいけない。署名も呼びかけやっているがどうもうまくいかない。機関誌は名前を書いて会員と会員外に渡している。支部総会を2年やっていない。幹事4人いるが2人活動になっていて大変。七飯町で上映会を開き20名参加、15名の感想が届いた。今後上映会、総会を開いていきたい。会議連絡を早めに確実に頼みたい。同盟活動のスケジュールが欲しい。名刺広告掲載の誤りや「不屈」部数の配布もきちんとしてほしい。

(本間副会長) 大会まで半年が過ぎいよいよ追い込み時期となった。道の常任幹事会の決定、35名、35名、70名の会員拡大で1300名の目標をやりとげようの決意。これに応えた活動で目標を達成してきた道常任幹事会は、新しい前進を切り開く一歩を作った。6月以降の会員を124名増やしたことは全国的に見てもすごい成果といえる。しかし、国賠署名数の遅れが問題である。どう取り戻すかである。今一度各支部の目標数を確認し、中間目標を持ち目標にいかに関接するかその実行計画を

しっかりとめなければならぬ。署名目標は25000である。各支部目標を今一度確認する必要がある。ひとり10筆運動をやったとしても13000筆で目標には届かない。また活動会員3割では到底出来ない。全会員の署名活動参加を促すしかない。苦小牧の報告のように方法は色々ある。訴えに応えない会員はいないはず。物も声も届けることが全会員の活動を可能にする。挑戦していきたい。

(畠山副会長) これまでの鑑賞到達点は6954人、東京に次いで全国2位となった。しかし、統一選挙後、選挙の敗北感、総選挙の様子見もあり上映実施が困難になった。それでも遠軽町、壮瞥町、苦小牧市など13会場543人の鑑賞実績となり、素晴らしい経験が紡ぎ出されている。今後は第4次上映運動として取り組む。上映運動を同盟活動の重要な柱の一つと位置づけて取り組んだことで、全国の75地域15000人の債権運動に広がった。北海道はその牽引的存在にもなった。その基礎に50回以上の学習会開催があり歴史に残る運動を生み出している。鑑賞

者からの感想も多く、特に自らの生き方を問う契機となり同盟加入を決意する人も多かった。苦小牧では入会者6人中5人が映画をみている。上映運動は、1300人の同盟建設、特に班、やがては支部づくりにつながる視点をどうもつかが重要である。北海道には上映債権がまだ30口ある。6000人が鑑賞出来る。2025年4月未まで自主上映可能なので債権を有効に使いアンコール、会場別、地域別上映会等工夫を凝らし実施していきたい。それには情勢に引きつけ同盟建設に結びつける目的での学習交流集会が必要。同盟と実行委員会が協同で開催することを提案したい。



常任幹事からの意見

・同盟の拡大と両輪を意識し、全道に広げる上映会を実施する。
・昨年の高崎講演会の経験を生かし、情勢と上映会の意義を確認する学習交流集会を開いてはどうか。

・ブロック交流会にあわせて同盟会員外も含めた学習交流集会を

してはどうか。

・鑑賞者は年配の人が多い。民青同盟など若者の組織と協同した取り組みをすべきである。

・少なくともっている戦争体験者を発掘し話しを聞く機会をもつてはどうか。

・地域で上映会を開催する仕方を知りたい↑経験は多くある。実行委員会に相談する。



事務局からの意見

・中央本部に道の現勢を報告するため、国賠署名と会員現勢の「月末報告」を必ず提出してもらいたい。また、動向を支部と道で共有したい。

・財政報告で提起した「西田信春書籍代回収は終了する」の件について、常任幹事会の了承をえました。また、会費未納支部への対応について早急に検討する必要があります。



今後の活動方針

(討論のまとめにかえて)

1, 全国大会めざし会員70名を拡

大し北海道本部目標の1300人に必ず到達する。

2, 国賠署名の遅れを早急に取り戻し、支部目標をやりあげ5月の国会請願を成功させる。

3, 千代子映画第4次上映運動を成功させ、強固な同盟建設に繋げていく。

4, 「再び戦争と暗黒政治を許さない」の学習を強める。特に学習交流集会や顕彰活動などを「千代子映画」上映運動北海道実行委員会など他団体と共同して取り組む。

5, 民青同盟等若者に国賠同盟を知らせる活動を推進する。

(文責河野)

南空知支部女性部からの一報

1月29日藤田廣登論文「治安維持法成立から100年—21世紀を真に人権と平和の世紀にするために」をテキストに学習会をおこないました。



北海道の未来と両立しない!

『核ゴミ』文庫調査説明会について

道知事に申し入れ!

2020年11月、後志の寿都町、神恵内村で始まった「核ゴミ」処分候補地選定に関わる文庫調査。近々「調査報告書」がまとめられ説明会が行われる予定です。全道民に関わる「核ゴミ」問題。「形式だけ」に終わらせず、全道民対象に説明会を開き意見を聞くようにと申し入れました。

(道革新懇FAXニュースより)

第47回紀元節復活反対!

2・11道民集会

2月11日(日) 12時30分〜14時30分
ホテルライフォート

(札幌市中央区南10西1)

講演/「家族」をめぐる

講師/能川元一さん

連絡先/靖国神社国営化阻止道民

連絡会議

Tel 011-561-8825

3・1ビギニデー

北海道集会

2月24日(土) 11時〜16時
クリスチャンセンター

(北区北7西6)

第一部/「第五福竜丸」上映

第二部/14時

講演/「核兵器のない世界

めざして」

講師/市田真理さん(第五福竜

丸展示館学芸員)

連絡先/3・1ビギニデー北海道

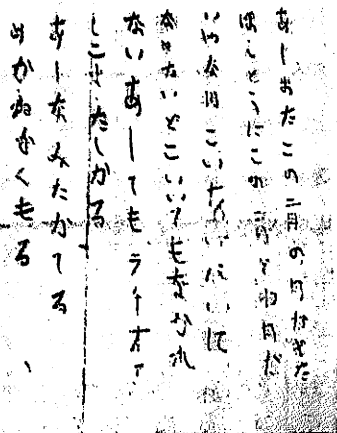
実行委員会・安保破壊北海道

実行委員会

Tel 011-747-7557

2月22日：「小林多喜二の命日」

2月を迎えるときいつも多喜二の母、小林セキさんの「あー、また2月の月が来た」の一文を思い出します。悲しみにうちひしがれながらつぶやく声が聞こえてきます。治安維持法の悪法で無残に殺



多喜二をしのぶセキの肉筆
ああ、またこの二月の月が来た。
本出にこの二月という月が
嫌な月、声を一杯に
泣きたい、どこへ行っても泣かれない。
ああ、でもラジオで
少し助かる
ああ涙が出る
涙乾くも

「多喜二をしのぶセキの肉筆」
『母の語る小林多喜二』小林セキ[述]小
林廣編、荻野富士夫[解説]新日本出版社

「わが青春つきるとも」

伊藤千代子の生涯

上映情報

上映運動北海道実行委員会のニュースが届きました。昨年の第3

次上映運動では13会場543人の鑑賞者でこれまでの累計鑑賞者は、6954人となりました。い

よいよ自主上映期間が終わりにな

る来年4月末までを第4次上映運

動に設定し取り組みを開始してい

ます。道実行委員会では、上映会

を開きたいと要望すれば相談に応

じる体制をつくり、購入した上映

機器ともどもお声掛けをもらうの

をお待ちしていますとのこと。あ

なたの町で、職場で、団体で、サ

ークルで、仲間同士で、肩ひじ張

らずどんどん上映会をひらきませ

んか。千代子からたくさん学べる

機会となるでしょう。

4月20日壮瞥町にて

上映会決定！

12月16日、伊達市、豊浦町、壮

瞥町から8名の実行委員が集まり

伊達市で実行委員会を開きまし

た。昨年映像機器のトラブルで中

止になっていた上映会を再び実施

することになりました。ここには新

しい実行委員も参加し上映の輪が

広がって実現します。

上映会の詳しい内容について

は、後日発表されますので楽しみ

にお待ちください。

お礼とお詫び

日頃のご協力、ご厚情に心から感謝申し上げます。

2024年新年賀名刺広告にご協力いただきましたことお礼申し上げます。

ついては、大変申し訳ないことに、一部掲載漏れや掲載誤りがありました。

誠に失礼いたしました。

今後この度の様なことがないように十分留意し対処してまいります。

ここに深くお詫びを申し上げます。

事務局長 横山博子

江別発

平和都市宣言として平和を守ろう！

江別憲法9条を考える会実行委員会は、1月19日治安維持法同盟江別支部・革新懇・原水協・年金者組合・新婦人・日本共産党と団結し大森駅前で100回目となるスタンディングをしました。小学生から80代までの21人が参加しスピーチをしながら署名も訴えました。